

※本リリースは、国内電通グループ各社から重複して配信される場合があります。あらかじめご了承ください。

2026 年 10 月 2 日
株式会社電通デジタル

AI で事業機会とあるべきくらしを探索 「電通 未来ファインダー for AI」を提供開始 －AI と可能性を探索する 181 の未来情報で 事業機会の発見とシナリオ策定を支援－

株式会社電通デジタル（本社：東京都港区 代表取締役社長執行役員：瀧本 恒 以下、電通デジタル）と、国内電通グループ 6 社^{※1}による横断組織「未来事業創研」は、企業による未来の事業機会やリスクの探索を支援するツール「電通 未来ファインダー for AI」を、本日から提供します。同ツールは、2040 年に向けた社会変化を体系的に整理したもので、2023 年の提供開始以降、毎年改訂を重ね^{※2}、これまでに約 100 社の事業課題の解決を支援してきました。今回提供する「電通 未来ファインダー for AI」は、AI の能力を活用し、人と AI がともに未来の可能性を探索するセッションツールです。

<「電通 未来ファインダー for AI」アイコン画像>



生成 AI の活用がビジネスで広がる一方、AI の出力は入力する情報によって大きく変わります。特に未来に関する情報には多様な予測や見解があるため、信頼性と重要性を確認した幅広い情報を入力することが重要です。

「電通 未来ファインダー for AI」は、従来の「人が読み、未来を考えるための情報」を、「AI に入力し、人と AI がともに未来の可能性を探索するための情報」へ再構成しました。生活者のくらしや行動の変化を重視し、収録テーマを従来の 100 テーマから、提供開始時点で 181 テーマに拡充しています。食、働き方、住まい、健康、学び、気候変動など、企業活動に影響する 2040 年に向けた社会変化を、信頼性を確認した情報に基づいて体系的に整理し、テーマは今後も順次追加する予定です。また、各テーマには、未来事業創研のメンバーが未来情報をもとに整理した着眼点や示唆を記載しています。これらの情報と AI を活用したセッションを通じて、企業は未来の可能性を具体的かつ多角的に探索することが可能です。

事業課題に未来情報を活用するには、現状の制約だけにとらわれず、多様な可能性を検討することが重要です。目指す未来の姿から現在の取り組みを考える「バックキャスト^{※3}」の考え方をを用いることで、将来の選択肢を広げ、事業課題の解決につながる対応策を検討できます。

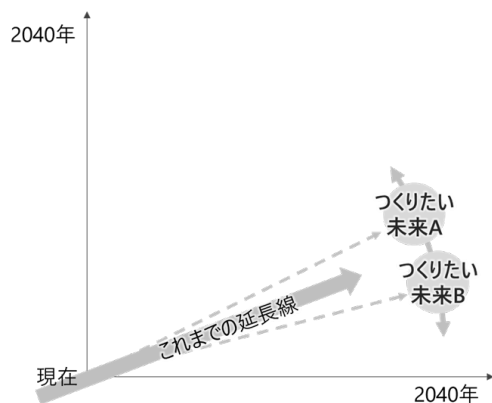
一方、人の力だけで幅広い可能性を探索するには限界があります。「電通 未来ファインダー for AI」は、「未来に創出される市場」「自社の技術や人材を生かせる新たな事業機会」「未来の生活者変化とその具体像」など、事業課題の検討に必要な視点を幅広く探索できます。

さらに、自社の事業情報、市場データ、技術動向などと未来情報を組み合わせることで、未来の生活者像の設計、既存事業への影響分析、シナリオプランニングなどに活用できます。これまで自社では気づけなかった可能性を引き出し、新規事業や新商品の企画だけでなく、ビジョンやブランドなどのゴールを見いだすことが可能です。

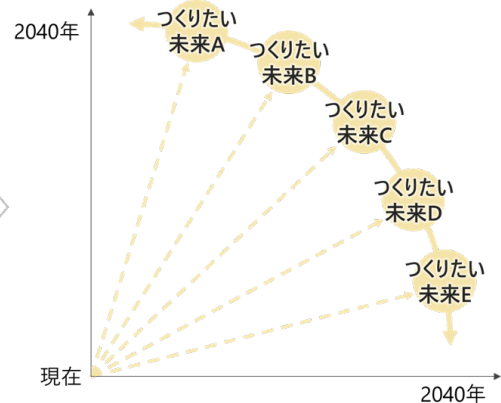
未来事業創研は、「電通 未来ファインダー for AI」を通じて、企業が既存の知識や常識にとらわれず、数多くの未来の可能性を探索し、新たな事業機会の発見や未来に向けた検討を進められるよう支援します。

<目指す未来の姿から現在の取り組みを考える「バックキャスト」>

現在起点では可能性が限定される（フォアキャスト）



可能性を網羅できる未来活用（バックキャスト）



<さまざまな掛け合わせで未来の可能性を網羅することを目的とした
「電通 未来ファインダー for AI」>

未来ファインダー の活用方法

「電通 未来ファインダー for AI」に格納された
幅広い領域の未来のナレッジと
自社がもつ情報や技術をAIに読み込ませて、
未来の当たり前がわかるAIを実装。
様々な未来の探索に役立てます。



STEP1 | 180項目を超える未来の情報と自社アセットなどの
データを掛け合わせてAIにインプット。

STEP2 | 未来と自社を知り尽くした独自AIを開発し、
多様な未来探索に活用します。

探索したい未来	掛け合わせるデータ
未来のビジネスチャンスを知りたい	未来ファインダー × 自社アセット
未来の商品アイデアを探索したい	未来ファインダー × 自社アセット
未来人とチャットしたい	未来ファインダー × 普遍的11欲求

探索したい未来	掛け合わせるデータ
自社の未来の提供価値は？	未来ファインダー × 自社のビジョン
未来の暮らしを知りたい	未来ファインダー × 普遍的11欲求
未来に生まれる新市場を探索したい	未来ファインダー × 未来ファインダー

<「電通 未来ファインダー for AI」>

73 間食・おやつ

これからはエブリタイム・お菓子タイム
健康もストレスも寂しさもお菓子で解決

2040

- 健康志向が高まる現代において敬遠されがちなお菓子は便益を提供する存在に変化。健康に良いお菓子が次々と触れるだけでなく、ジャンクなお菓子はメンタルウェルネスな存在となる。
- 健康に必要な栄養素が入ったお菓子が増えていくと同時に、食事代替としてお菓子を食べる人も増加。時間が無い朝は通勤しながらお菓子を朝食に、忙しい昼は、仕事をしながらお菓子をランチにすることが可能に。
- お菓子の種類はどんどん増えていく。量・大きさ・食感・味・色、多様な展開ができることがお菓子の魅力。口が寂しい時用にゼロカロリーのお菓子、イライラした時に噛むお菓子、などで食頻度も増加していく。

2040年はこんな未来

サンプル

お菓子に求める便益の二極化

健康志向が高まる現代において敬遠されがちなお菓子は便益を提供する存在に変化。健康に良いお菓子が次々と触れるだけでなく、ジャンクなお菓子はメンタルウェルネスな存在となる。

食事代替となるお菓子の増加

健康に必要な栄養素が入ったお菓子が増えていくと同時に、食事代替としてお菓子を食べる人も増加。時間が無い朝は通勤しながらお菓子を朝食に、忙しい昼は、仕事をしながらお菓子をランチにすることが可能に。

目的と選択肢の多様化に伴う食頻度の増加

お菓子の種類はどんどん増えていく。量・大きさ・食感・味・色、多様な展開ができることがお菓子の魅力。口が寂しい時用にゼロカロリーのお菓子、イライラした時に噛むお菓子、などで食頻度も増加していく。

<「電通 未来ファインダー for AI」のテーマ一覧>

カテゴリー	テーマ数	内容
01. 環境	18	世界の温暖化、日本の二季化、日本の自然災害など、環境を取り巻くテーマ
02. インフラ・エネルギー	16	インフラ再整備、交通システム、クリーンエネテックなど、インフラやエネルギーを取り巻くテーマ
03. 社会	27	世界や日本の人口、経済、物価、格差など、日本の社会を取り巻くテーマ
04. 暮らし	33	食べる、飲む、住まう、ファッション、消費・買い物など、衣食住を取り巻くテーマ
05. 人生	11	恋愛、結婚、老後、死、生きがい・生きる意味など、人生を取り巻くテーマ
06. ウェルネス	15	健康、医療、リラクゼーション、デジタルデトックスなど、ウェルネスを取り巻くテーマ
07. つながり	7	人間関係、コミュニティ、パートナーシップ、孤独など、つながりを取り巻くテーマ
08. 仕事・学び	19	働き方、労働者不足、就職・転職、資格、教養など、仕事や学びを取り巻くテーマ
09. 趣味・遊び	9	ゲーム、ライブエンタメ、推し活、国内・海外・宇宙旅行など、趣味や遊びを取り巻くテーマ
10. 情報・文化	10	メディア、広告、宗教、スピリチュアリティなど、情報や文化を取り巻くテーマ
11. テクノロジー	16	人工知能、AIエージェント、ロボティクス、バイオテクノロジーなど、テクノロジーを取り巻くテーマ

なお、「電通 未来ファインダー for AI」の提供開始に伴い、同ツールと生成 AI を活用した共創セッションを開催します。

セッションでは、未来事業創研メンバーとともに 2040 年の社会変化を学んだ後、「電通 未来ファインダー for AI」の情報を AI に入力し、事業機会を探索します。さらに AI で生成した未来の生活者との対話を通じて、未来を起点とした事業アイデアの発想を体験することができます。

<「電通 未来ファインダー for AI」共創セッション構成>

第一部：未来のことを知り、未来の使い方を知る未来勉強会

第二部：未来ファインダー×AI でビジネスチャンスを探る共創セッション（体験版）

<セッション概要>

- ・日時：2026 年 11 月 11 日（水）15:00～17:30
- ・会場：電通本社ビル（東京都港区東新橋 1-8-1）
- ・定員：30 名
- ・参加費：無料

※セッション終了後に、簡単な懇親会も予定しています。

<対象者>

以下のような課題をお持ちの方/チームの皆さま

- ・2040 年の未来を見据えた、2030 年代に向けた長期戦略やロードマップ策定を検討している方
- ・未来を創出し、持続的成長が可能な事業開発を検討している方
- ・2030 年代に向けた企業ビジョン（ミッション・ビジョン・バリュー）策定を検討している方

※より多くの企業にご参加いただくため、1 社お一人でのお申し込みをお願いいたします。

〈申込先〉

下記 URL よりお申し込みください。（事前登録／抽選制）

https://pages2.dentsudigital.co.jp/seminar/20261111/?utm_source=release&utm_medium=internal&utm_campaign=20261111_seminar

〈申込締め切り〉

2026 年 10 月 23 日（金） 18:00

※当選結果は、2026 年 10 月 27 日（火）から 10 月 30 日（金）までにメールでご連絡します。

当社は今後も、未来研究、生活者理解、事業開発、データ、テクノロジーに関する知見を組み合わせ、企業が未来の可能性を幅広く探索し、事業機会の発見と将来に向けた意思決定につなげられるよう支援します。

※1：国内電通グループ 6 社

株式会社電通、株式会社電通東日本、株式会社電通西日本、株式会社電通コンサルティング、株式会社電通総研、株式会社電通マクロミルインサイト

電通 未来事業創研：<https://dentsumirai.com/>

※2：

人と社会が望む 2040 年の未来の暮らしを構想し、ビジネスチャンスを発掘する「電通 未来ファインダー 100」を提供開始（2023 年 12 月 12 日発表）

<https://www.dentsudigital.co.jp/news/release/services/2023-1212-000125>

未来の暮らしを構想し、ポスト SDGs のビジネスチャンスを発掘する「電通 未来ファインダー100®（2024 年版）」を提供開始（2024 年 9 月 10 日発表）

<https://www.dentsudigital.co.jp/news/release/services/2024-0910-000171>

未来に向けた事業創造を支援するツール「電通 未来ファインダー100®（2025 年版）」を提供開始（2025 年 9 月 18 日発表）

<https://www.dentsudigital.co.jp/news/release/services/2025-0918-000257>

※3：バックキャストとは

目指す未来の姿を先に設定し、そこから逆算して現在行うべきことを考える方法。

以 上

＜電通デジタルについて＞ <https://www.dentsudigital.co.jp/>

電通デジタルは、国内最大規模の総合デジタルファームです。「人の心を動かし、価値を創造し、世界のあり方を変える。」をパーパスに、生活者に寄り添うクリエイティビティとテクノロジーを統合的に活用することで、あらゆるトランスフォーメーションを実現しています。クライアントの事業成長パートナーとして、共に新たな価値を創造することで、経済そして社会の「変革と成長」を目指しています。

【リリースに関する問い合わせ先】

株式会社電通デジタル コーポレートコミュニケーション部

北川・横田 Email : press@dentsudigital.co.jp

【本事業に関する問い合わせ先】

株式会社電通デジタル エクスペリエンス&プロダクト部門 プロダクトプランニング事業部

吉田・工藤・竹内 Email : dd_future.info26@group.dentsu.co.jp